

「南相馬っ子ウインターキャンプ in 福井」

はじめに

12月22日から26日までの4泊5日で、南相馬の子ども達13名を招いてスキージャンプ勝山にて冬の福井を満喫しました。男子4人、女子9人を招待しての実施でしたが、福井の子どもや、福井へ避難してきている南相馬の子どもも参加しながら、交流をはかりました。

初めてスキーを経験する子もいる中、数人のお父さんにボランティアとして加わっていただき、スキーの指導はじめ、スキー場で安全に遊ぶためにご協力いただきました。

南相馬の子どもたちは福井に来ることを楽しみに毎日を頑張っていたようです。

この子たちの笑顔に出会えること。

それが何よりの喜びです

1日目 12月22日（土） 福島県南相馬市から福井県坂井市竹田へ大移動

前日から観光バスとともに南相馬入りをしてきたあらじんの引率で南相馬を出発。夕方、福井県坂井市丸岡町の竹田小学校へ到着。

廃校予定の小学校にて、宿泊し、体育館で汗をかいたりしながら、翌日からスキーに備えました



お風呂は竹田地区にある、たけくらべ温泉へ入りに行きました

2日目 12月23日(日)

スキージャム勝山

いよいよ、スキーの初日です。
スキージャム勝山を運営する(株)東急リゾートさんに
リフト券や、レンタルをご協力いただきました。
多大なるご支援に感謝の一言です



初めての子どもたちも午前中練習をして、
午後からはすぐにリフトに乗りました。
寒波が来ている中、奇跡的な天気で、天気までもが南相馬の子どもたちを歓迎してくれました。
子どもたちは最高の気分で、初日のスキーを楽しみました。
荷物の運搬や、レンタルの準備・子どもたちの引率。ボランティアのお父さんに感謝です。



3・4日目 12月24日(月) 25日(火)

クリスマス

この日も好天のゲレンデが南相馬の子どもたちを待っていました。
スキーはもう慣れたもの。リフトに何度も乗り、スキーを楽しみました。



滞在する最後の夜に、クリスマスケーキをみんなで食べました。

5日目 12月26日(水)

南相馬へ

眠い目をこすり出発の朝を迎えました



最後に

夏に続き、南相馬の子どもたちを招待しました。

この事業が子どもたちの心をリフレッシュさせ、生きる力になることは毎回確信するところですが、やはり今回も強くそれを感じました。

そして、子どもたちは身の回りの世話をしてくれるスタッフとの交流を経て、どんどん人間的に優しくなっていく事を感じます。

クリスマスイブの夜中、スタッフへ手紙とプレゼントを枕元に置いていくサンタさんも現れました。自分たちの人生を本気で応援してくれる人がある。その存在を身近に感じることでできた子どもは強くなります。

そして、応援する私たちも同じです。招待される子どもも、招待する私たちもみんなが幸せな気持ちになり、どんな困難をも乗り越える強い力を手に入れました。



南相馬からの便り

事業終了後、南相馬からたくさんのお手紙をいただきました。その中の1通をご紹介します。

Full of dreams and full of hopes.

あらじんへ

Hello - !! 元気かい?? ちは、元気だよ

こないだは、ありがとう 本当に楽しかったよ

スキー - 最高だったよ  カラオケも

今年の夏初めて会った時から 自分自身が少し変わった(笑)

あらじんと、出会って 本当に良かった ~~よ~~ じゃなかったら、

人生半分 ~~そん~~ してたあ ~~一~~ っでか、死んでたかも!!

つらい事たくさんあって 親にも相談する事もできなかった。

でも、あらじんに会って 1週間 イヤな事をわすれて 楽しく

生活できました。自分自身をコントロールできなくなって、勝手に

人にあたり、物にあたり、自分を傷つけたり...

「死にたい」って何回もあったけど、自分を生んでくれたお母さん、

お父さんの気持ちのここからじわじわうかんできて、

死はしなかった。そんな中、あらじんと会ったり、あらじんが書いた

本を読んで、「何かあっても生きて行こう」、「うちには未来がある!」そう

思って 自分の心を変える事にしたんだよ ~~あ~~ あらじんに

会って 本当に良かった!! ありがとう

夏も冬もとっても楽しかったよ

また、福井に行きたいです

その時は、またよろしくね

これからも、ずーっと 家族ぞいて下さい

by もっち

